

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 17-001

PDCA	事務事業名	老人クラブ活動助成事業	部課等名	福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当	担当	榑原健	
					内線等	376	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第2節 地域福祉の推進					
		基本施策： 2. 高齢者福祉					
		単位施策： (2) 高齢者生きがいの推進					
	根拠法令等	半田市老人クラブ活動等社会活動促進事業助成金交付要綱					
	対象・目的	高齢者の生きがいのづくりや地域での社会参加の促進を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	高齢者の知識や経験を活かし、生きがいや健康づくりのための多様な社会活動を行う老人クラブに対し、活動に係る費用の一部を助成する。 ※現在、役員のなり手不足などから老人クラブを解散するところが増えてきている。そのため老人クラブの会員数が減少傾向にあるため目標値は、令和元年度実績値とした。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		29年度	30年度	元年度	単位
		①老人クラブ各部会の活動回数		375	328	317	回
		事業費		7,131	6,062	6,043	千円
		人件費		1,904	1,874	1,863	千円
		総事業費		9,035	7,936	7,906	千円
		活動単位当たりのコスト		29年度	30年度	元年度	単位
	①老人クラブ会員1人あたりのコスト		1,597	1,510	1,558	円	
	成 果	成果指標		29年度	30年度	元年度	単位
		①半田市老人クラブの会員数	実績値	5,655	5,256	5,076	人
			目標値	6,500	5,655	5,256	
			実績値				
			目標値				
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理		観点別評価	必要性	有効性		効率性	
	①市の関与の妥当性		妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
	②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		老人クラブの活動を支援することにより、地域の高齢者の健康増進、仲間づくり、介護予防等につながった。一方で、会員数は減少傾向にあり、役員の担い手不足や高齢化から役員1人当たりの負担が増加しているクラブもあるなど課題が残る。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		高齢者が地域での生きがいを見つけ、健康づくりを増進できる老人クラブの魅力を発信できるようPR活動に協力し、会員数増加につながるよう取り組む。また、役員の負担軽減について半田市老人クラブ連合会や社会福祉協議会(市老連事務局)と協議していく。					
	令和2年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①半田市老人クラブの会員数		5076	人		